



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享胤

出席報告：会員 72名 出席 56名 出席率 77.78% 前回出席率 66.67% 修正出席 58名 確定出席率 80.56%

四つのテスト

- ㊦ 真実かどうか？
- ㊧ みんなに公平か？
- ㊨ 好意と友情を深めるか？
- ㊩ みんなのためになるかどうか？

会長報告

川村徳男君

1. P・Gの石黒先生が台湾の年次大会に出席されて、お元気にお帰りになりました。まことに御苦労様でした。また、当クラブから台中港R.Cへのメッセージをお伝えいただきましてありがとうございました。後程スピーチがございます。
2. 渡部利夫さんがこの度の異動で、4月1日付で本部に戻られるということです。渡部さんは56年4月入会されまして4年間、特に会計、会員増強にご尽力いただきましてまことに有難うございました。これからもお元気で活躍されますようお祈り申し上げます。
3. 今日は福島さんにとって最後の例会出席になります。鶴岡でのご活躍ご苦労様でした。新しい任地でもお元気に過されますようお祈り申し上げます。

4. 次の例会までの行事

(1) ロータリー関係

明20日は第7回目の教育110番ですので、関係の方々よろしくお願い致します。前回の2月の相談は、その直前に市の広報紙に掲載して頂いたり、市の企画でN・H・Kの市町村だよりの時間にP・Rしていただいたり、市当局の絶大なご協力がてきめん現われて、受付開始の10時早々から電話が入り、その後も途切れる間もな

いほどで、対応するカウンセラーの先生方も張り合いがあったようでした。留守番電話の件数からみても、親、本人、と悩みをもつ人達は決して少なくはないでしょうから、適切なP・Rの協力を得るようにしてゆけば、これから先相当数の相談が定着することが期待できるものと思います。

23日は次期会長、幹事の研修セミナーが原町で行なわれます。大へん御苦労様ですが、気をつけて行ってきて下さい。

(2) 一般の行事

21日は春分の日、彼岸の中日です。暑さ寒さも彼岸まで……自然とのかかわりの深かった昔は大事な生活の目安だったのででしょうか。

幹事報告

迎田 稔君

1. 出版物のご案内

“核をやめさせる力”

ハロルド・ウィレンズ著

向笠広次訳 (国際ロータリー前会長)

2. 講演会のご案内

日本の生きていく条件

太平洋協力の展開

外好評論家 佐藤紀久夫氏

3月19日 午後3時

物産館 3階ホール

庄内空港の建設を推進しましょう

主催 鶴岡法人会
日本外交協会

日時 4月28日 午後1時
場所 立川コミュニティセンター

3. 立川R.C.10周年記念式典への参加お願い

会員スピーチ

台湾第346地区年次大会に招待されて

石 黒 慶之助 君

今回、私共の地区と最も親しい関係にある第346地区総監謝文昌氏の正式招待状を受け、更にR.I.会長代理となられた大原嘗一郎パストガバナーのご要請により、会長代理御夫妻に随行し、家内と共に大会に参加して参りました。私の訪問については、姉妹クラブである台中港区扶輪社と酒田東クラブと姉妹クラブ盟約の苗栗扶輪社の強いご希望並に同期の総監廖泉生博士や、鶴岡大会に会長代理としておいでいただいた英子珊博士各位の絶大な蔭からのご好意によるものと思います。

更に訪台については、鶴岡R.C.会長川村徳男さんのメッセージと酒田東クラブ数馬稲蔵会長のメッセージの依頼を受け、姉妹クラブ会長にお手渡しでき友情を深めることができました。また、張紹淵先生と中江亮元会長には私の訪台のため、出発前より先方へ種々ご連絡いただき、充分地ならしをしていただきました。両氏のご尽力に心から感謝いたします。

3月7日朝7時半鶴岡出発しましたが、川村会長は駅までわざわざお見送りいただき、恐縮しました。72才の老人に対し、このように暖かい友情を以って激励下さいました内外の皆様には心から厚く感謝いたします。ロータリーの友情を噛みしめて、その果報者だった私が皆様にどんなお土産話が出るか心配であります。

今回の台湾訪問は毎日歓びと暖かい友情に充ちた感激の旅でありました。会長代理の随行者であるのに、大原先生と同様に処遇され全く恐縮いたしました。例をあげてみれば、3月7日夜6時半に桃園空港に到着したら（羽田より英先生ご夫妻が同乗された）、謝総監ご夫妻並びに台中西南クラブと台中市のクラブ代表10名位のお出迎えを受け、当地区から

行った5名全員にレイをかけ拍手で迎えられたり、大会中はカトレアの胸飾りと元総監の名札をつけられ、夫人には花束を贈られたり、帰りには幸福を呼ぶボンボンを総監夫人が自ら胸につけて下さいました。ホテルでは何時も会長代理の隣りのルームをとり、3日間の宿泊料は全部地区で負担されました。

次に年次大会の模様に触れてみたいと思います。現在、第346地区は今年より北部半分を分割し、クラブ数43R.C.、会員数は1,596名であります。出席総数1,916名、内夫人の参加636名と出席率の高いのに驚きました。会場は国立台中商業専科学校の講堂、会議室、校庭などすべて使用、大変立派で機能的に便利で、本会議、分科会、友愛の広場などが接続し、良い場所を選んだと思います。日本と違うのは、実際の運営はすべて大会委員長が行い、ガバナーは挨拶、報告、表彰を行うのみで、良い意味でのカリスマ的存在でありました。48才のガバナーは日本語が判りません。スタッフが先輩であり、年上者だったので、御自分はおもむくばら微笑をたやさず、品位を深め、非常に気を使っていたように見られました。大原会長代理は謝総監とは英語で話し合っていて、良く意志が通じていましたが、私は通訳を通して日本語で話してきました。台湾では日本語の通ずる方々は高齢化し少なくなっており、世代の移り変りの激しさをしみじみと感じました。

大原会長代理のR.I.会長のメッセージ、R.I.の現状報告などのスピーチは格調高い立派な内容であり、まことに立派な出来ばえでした。10年前、故早坂源四郎ガバナーの時においでになった英国のプライド会長代理のスピーチを参考にされたと申しておられました。

大会最終日の3月10日の夜には、台中港区と苗栗両クラブの歓迎会に招かれ、ここでも大変な歓迎を受けました。懐しい旧知の方々が40名位集まり、楽しい一夜を過ぎて参りました。ここで川村会長のメッセージを両会長に手渡し、更に台中港区と苗栗両

クラブ会長と鶴岡クラブのバナーを交換し、今後一層の親睦を深め、お互いにロータリーの発展に努力しようとしてまいりました。台中港区は明年度5月10日に創立15周年式典を行うそうです。

退会の挨拶

福島三郎君

この度、3月25日付をもちまして東京の千代田区の方に転任となりました。まる2年間でしたけれど皆様方のご支援・ご友情、これを糧としまして、新任地で頑張りたいと思います。新しい事務所は地下鉄銀座線の青山一丁目という所で、東宮御所のそばです。ご上京の折にはご一報いただければ…。新しい住いは千葉県浦安です。なにかディズニーランドが目に見えるというところだそうです。又ご一報いただければご案内したいと思います。私の後任が東京の方から25日付でまいりますので、私同様よろしく願いいたします。

どうも2年間ありがとうございました。

渡部利夫君

先程会長さんからお話ありました通り、4月1日付で銀行の関係会社山銀ビジネスサービスという会社の方にお世話になることになりました。

4年間ロータリークラブに加入させていただいて大変思い出深い4年間を過ごすことが出来ました。特に石黒先生のもとでの地区大会のお手伝い、それから釣大会等、大変幸せな4年間だったと思います。後任に楯岡のロータリークラブに加入しております加藤という支店長が私と同様鶴岡ロータリークラブに加入させていただいて、お世話になることといたします。私以上にお引立てを賜りますようお願い申し上げます。4年間本当に有難うございました。

委員会報告

職業奉仕委員会

佐藤忠君

○職場見学

日時 4月9日(火) 午後1時

見学場所 木村屋さん

集合場所 第一イン鶴岡

尚、当日例会場を第一インに変更しますので、12時30分までにお集り下さい。

スマイル

斎藤昭君 三男が北里大学の獣医畜産学部
に合格しました。

新穂光一郎君 長女が山形大学の人文学部に入学
しました。

高橋良士君 長男が高校に合格しました。

迎田稔君 三番目が合格しました。

佐々木喆彦君 迎田君と同級、同クラスでござ
いますので黙っている訳にもい
きませんので。

松田士郎君 青年会議所主催麻雀大会で準優
勝しました。

佐藤元伸君 J・Cの麻雀大会に不注意で欠席
しましたのでお詫びに。

板垣広志君 高校入学しました。

阿蘇司朗君 三男が高校に入学しました。

丹下誠四郎君 息子が高校に合格しました。

ビジター

余目R.C. 佐藤孝一郎君

鶴岡西R.C. 野口 弥君

児玉光弥君

菅原年雄君

佐藤 拓君

(今週の担当者 手塚 拓)

ロータリー用語便覧 (17)



意義ある業績賞 理事会は、1973～74年度に、それまでの「意義ある業績賞」を廃止し、新たに認証という方法によって、ロータリー・クラブのあげた重要な業績を表彰するプログラムを設け、その表彰を受けるクラブを各地区ガバナーに選ばせることにした。理事会は、その選衡の規準を次のように示している。

の表彰を受けるクラブを各地区ガバナーに選ばせることにした。理事会は、その選衡の規準を次のように示している。

- (1) 事業は、その土地において、あるいはその土地のみに限らず、誰の目からも重要とみられている問題を対象とするものでなければならない。
- (2) 事業は、単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半または全部が直接参加するようなものでなければならない。
- (3) 事業は、他のクラブもこれと競争して行なえるようなものでなければならない。
- (4) 事業は、当該年度に始められたものでなくてもよいが、現に実施中のものか、または表彰が行なわれるロータリー年度内に終了したものかを立証するものを提出しなければならない。
- (5) いかなるクラブも、同一事業について、重ねて認証を受けられない。

次に、地区で実際に選定する場合の手續・方法としては、

- (1) 地区ガバナーは、毎ロータリー年度の8月1日までに地区選考委員を選任し、この委員会がすべての表彰の申請を受理することを告示する。地区ガバナーは、同委員会の職権上の委員となるものとする。
- (2) 地区ガバナーは、そのマンスリー・レターで選定規準とともに、この委員会に関する発表を行ない、申請書が委員会の手許に到達することを要する期日を公示するものとする。
- (3) 地区選考委員会は、当該ロータリー年度の12月1日までに会議を開き、5クラブまでを限度

として受賞候補クラブを選び、これを地区ガバナーに送達する。

- (4) 地区ガバナーは、前記5クラブの中から1クラブを選定する。ただし、特別な事情のある場合に限り、3クラブまでの選定が認められる。
- (5) 地区ガバナーは、国際ロータリー事務局に対して自分の行なった選定を証明する手続きをとり、事務局は、これに対する正式の認証状を作成してガバナーに送付する。
- (6) 地区ガバナーが認証状を贈ってクラブを表彰する場合、適当な方法でこのことを広く知らせるようにする。できれば、この贈呈式を地区大会の行事に加えるべきである。

委員会 クラブの諸種委員会、国際ロータリーの諸種委員会、国家連合委員会、その他臨時または特別または非公式委員会。クラブの常置委員会としては、社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・職業奉仕委員会と、クラブ奉仕部門の出席委員会・親睦活動委員会・雑誌委員会・会員選考委員会・会員増強委員会・プログラム委員会・ロータリー情報委員会・広報委員会および職業分類委員会とをぜひ設置することになっている。また、クラブの事情によって、委員会・臨時委員会などを設けることがある。

S・A・A これは元来、英国の王室と議院での慣用語として、「守衛官」を意味していたものである。しかし日本で「守衛」というと、一般的に、「警備」の意味をもち、警備→警戒する→用心する、ということから、ロータリークラブがこの言葉を用いる場合には、例会をはじめすべての会議（国際大会・国際協議会・地区大会・地区協議会など）が、「楽しく、秩序正しく運営されるよう、つねに心を配る」というニュアンスが含まれている。実際にはS・A・Aは「会場監督」と呼ばれている。なじみにくい呼称であるが、クラブの会長・幹事と並んで役員としての地位が与えられ、極めて重要な存在である。